

山形大学 YAMAGATA UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

校友会会報

12
SEPTEMBER 2018

校友会学生幹事企画「山大生の活動支援プロジェクト」に
採択された5つの団体が3月15日に活動成果を発表し
SCITAセンター学生スタッフが優勝!!



(平成29年度学生幹事と発表者の皆さん)

Contents

校友会 NEWS	2
新興国学生大使派遣プログラム	
科学で東北を盛り上げ隊!	
オペラの教育機能を活用した《附属学校との協働》	
及び《高大連携事業》	
OB&OG セミナー	
平成 29 年度事業紹介	4
事業紹介と参加学生さんからのコメント	
事業に参加した学生さんからのメッセージ	6
平成 29 年度収支報告	7
平成 30 年度事業紹介	7
平成 30 年度役員紹介	7
INFORMATION	8



Style& 表現研究会の皆さんが山形花笠祭りに参加

校友会とは…

校友会は、山形大学の全ての在学生と卒業生、役員、教職員、退職者等の会員（生涯会費 10,000円）で構成され、山形大学の応援団として山形大学や山形大学の学生等を支援する全学的な組織として平成18年12月に設立されました。

|校友会|NEWS|

1 本学の海外サテライトオフィスのある大学に学生大使を派遣しています。



ラトビアでの折り紙教室

平成24年度から、山形大学の海外サテライトオフィス（ベトナム、中国、インドネシア、ケニア、ラトビア、モンゴル、ペルー）のある大学に本学学生を学生大使として派遣し現地の学生に日本語や日本文化を紹介しながら海外経験を積む事業（新興国学生大使派遣プログラム）を実施し、これまで315名を派遣しました。

このプログラムの特徴は、現地の学生との対話機会の圧倒的な多さと対話の内容の深まりにあります。特に、学生大使として学生が企画する「日本語クラス」への参加学生は、日本に関心が高く、同世代の日本語ネイティブと触れる機会は極めて貴重であることから山大生の到着を心待ちにしています。そして、彼らは学生が話す一言一句に耳を傾けるため、コミュニケーションの中心に常に山大生がいることになります。長期の海外留学や海外駐在でも現地の学生との深い対話の機会はあまり多くないのですが、「学生大使」の滞在期間が2週間程度と短いながらも現地の学生と常時対話を重ねることから、充実した海外経験の機会が得られています。

また、同世代の人間同士の深い対話の帰結として、外国人学生が経験する喜び、悩み、そして苦しみなど様々な点で共感が生まれ、異文化や習慣等の違いの理解が自然に身に付き、より逞しくなって帰国し学生生活を送っています。

学生大使として派遣された学生の中には、学生大使での経験を更に深めたいという希望から、同じ校友会支援事業である大学間交流協定大学への短期派遣留学生支援事業に応募し半年或いは1年間の留学を目指す学生も多数います。



インドネシアのボロブドゥール遺跡を観察

2 「科学で東北を盛り上げ隊！」が多方面で活躍しています。



石巻市でのイベントスタッフ

山形大学SCITAセンターでは、東日本大震災の被害にあった子どもたちに少しでも元気を与えたいと考え、平成23年9月に宮城県石巻市で「科学で東北を盛り上げ隊！」として学術研究院栗山恭直教授、SCITAセンター学生スタッフ、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトの各マイスター及び山形大学職員が中心となり、校友会の大学・社会活動支援事業をはじめとする様々な方々の協力を得て活動し、昨年9月には12回目のイベントを開催しました。

この間、石巻市の他、福島県いわき市でも同様のイベントを開催するなど広範囲に活動しています。近年は、本学の出展・サイエンスショーのみならず、東北大・東京大学・NPO、更には地元の高校生も参加しての子供たちへ科学の楽しさを伝えるイベントが開催されてきました。これまでの参加者は、7年間で3万3千人余になり、大きなイベントとして定着しています。

SCITAセンターは、今年で設置10年を迎え、これからも「科学で東北を盛り上げ隊！」の活動を通じて子供から大人まで楽しい科学や本格的な実験に触れる場を提供すべく日々検討を重ねています。

また、SCITAセンター学生スタッフが企画した「山形大学医学部附属病院でのサイエンスショー」が校友会主催の「山大生の活動支援プロジェクト！」に採択され、入院中の子どもたちに笑顔を届けることができました。そして、その成果を「山大生の活動支援プロジェクト！」活動成果発表会で発表し「平成29年度ベスト活動大賞」を受賞しました。今後も「科学で東北を盛り上げ隊！」が科学の面白さや楽しさを各地で啓蒙して貢えるものと期待しています。



医学部附属病院でのサイエンスショーの様子

校友会支援事業及び主体事業として実施した事業の中から、新規或いは特徴ある4つの事業を紹介します。

3 附属小学校で 楽器のアンサンブルや オペラの公演を行いました。



附属小学校でのアンサンブルの演奏会

オペラ研究会では、平成29年度から「オペラの教育機能を活用した《附属学校との協働》及び《高大連携事業》」を実施しています。オペラは総合芸術と言われるように、歌は勿論、脚本、演技や演出、ピアノやオーケストラによる伴奏、指揮、舞台装置など、沢山の人による協働で成り立つものです。一つの作品を披露するまでには1年間に亘る計画的な練習と準備が必要ですが、そのプロセスを通して関わる全ての人たちが大きく成長する教育機能を持っています。

今回の事業では、その教育機能に着目し次の4つのプログラムに取り組んでいます。

- ①音楽科卒業生及び山形北高生との協働・連携によるオペラ公演やコンサートの実施
- ②オペラの教育機能を活用したアウトリーチプログラムの構築と実践
- ③附属校及び北高の音楽関係行事への本学学生の参加、支援
- ④北高音楽科との協働による病院等へのアウトリーチの実施

写真は、②と③のプログラムで附属小学校生徒にオペラや様々な楽器のアンサンブルを届けたもので、生徒たちからの暖かい拍手や歓声が何よりの励みになりました。また、③の北高に関するプログラムでは、6月に行われた同高の定期演奏会と一緒に演奏しました。なお、④の病院等でのアウトリーチは今年10月に実施予定です。①のオペラ公演やコンサートは10月28日に山形大学文化ホールで行います。このコンサートでは、『日本と世界をつなぐ音楽の架け橋—言語の違いによる名曲の新たな魅力』と題し、「赤とんぼ」「ふるさと」などの誰もが知っている名曲を様々な言語で歌うことに挑戦しますので、多くの方の参加をお待ちしています。



附属小学校でのオペラ公演

4 OB & OGセミナーを開催しました。



小山清人学長の挨拶

平成30年3月3日(土)に東京都内で13回目となる山形大学OB & OGセミナーを開催しました。このセミナーは、山形大学卒業生等首都圏ネットワークの後援を得て山形大学の東京サテライトと校友会が主催し、100名近い卒業生が参加しています。校友会学生幹事で医学部看護学科1年の矢口怜央奈さんの進行で小山清人学長から大学の多彩な実績の紹介を含めて挨拶があり、次いで、農学部担当の江頭宏昌教授から「在来作物は生きた文化財～その魅力と活用」の講演、引き続き、地域教育文化学部担当の松本大理准教授から「『今、ここ』の偶然性と必然性」の講演がありました。また、今回から現役学生の大学院理工学研究科2年土屋みなみさんと地域教育文化学部3年高橋秀平さんから活動報告を行っていただきました。

第2部の交流会は、結城章夫前学長の乾杯で始まり、農学部産の酒米で醸造された「燐樹」が振る舞わられ、卒業生の皆さんとは和やかな雰囲気の中で久しぶりの再会を楽しみながら懇談されていました。終盤には、各同窓会支部代表からの挨拶の後、山形大学学生歌「みどり樹に」と山形大学歌が合唱され、卒業生等首都圏ネットワーク三俣壯一会長(東京ふすま会会長)の万歳三唱があり、最後に、校友会副会長山川光徳教授(医学部担当)の御礼の言葉でお開きとなりました。

セミナーでは、山大オリジナルグッズや農学部生産加工品などが販売され、売切れご免の商品が出るなど盛況に開催されました。

平成30年度のセミナーは、来年3月9日(土)に開催されますので、多くの卒業生の方々のご参加をお待ちしています。



野村校友会副会长と東京ふすま会のみなさん



山大オリジナルグッズ及び農学部生産加工品の販売

校友会支援事業の紹介

修学支援事業

- 実践教育プログラム英語合宿
- 山形大学校友会大学院学生表彰制度
- 山形美術館を活用した学生の学習支援事業
- ◎ 校友会推薦図書コーナー
「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」

学生で構成する選書センターが仙台市の書店に赴き後輩に薦める図書149冊を選定し、小白川図書館に校友会推薦図書コーナーとして展示しています。これらの図書は、各キャンパス図書館での巡回展示も行いました。また、全国大学ビブリオバトル2017山形予選会も開催しました。



参加学生さんからのコメント

選書ツアーで学生達が選んだ本は小白川図書館3階の校友会図書コーナーに展示しており、貸出も可能。学内外の方問わず多くの方に楽しんでいただけるコーナーです。学生による手作りの紹介文も合わせてご覧ください。



参加学生さんからのコメント

幼少期に過ごしたアメリカへの想いに馳せ、応募しました。英語での授業、地域の人達との交流会など、色とりどりの毎日が私の中の価値観を変えてくれたと感じます。今、山大の先生方に感謝でいっぱいです。

グローバル化支援事業

- 新興国学生大使派遣プログラム
- 博士課程学生研究発表奨励事業
- ◎ 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業

テキサス大学アーリントン校、ヨーク・セントジョン大学、マンチェスター大学、モントリオール大学、タリン大学、マラヤ大学、台湾師範大学、銘傳大学、世宗大学、仁済大学、サン・カルロス大学の世界8か国11大学に20名を派遣しました。

課外活動支援事業

- 各キャンパス大学祭への支援
- 山形大学雪合戦大会支援
- ビーチサッカー大会 in 庄内
- ◎ 公認サークルへの支援

全国大会に出場した陸上部、硬式庭球部、剣道部、ソフトテニス部、囲碁・将棋部、軟式野球部、水泳部、少林寺拳法部、工学部少林寺拳法部の9サークルへの旅費及び2サークルへの物品購入費を支援しました。



参加学生さんからのコメント

陸上競技部は、これまで校友会から全国大会への出場旅費や物品の購入など、多大なご支援をしていただきました。そのお蔭もあり、今年の東北インカレ及び北日本インカレでは、多くの入賞・優勝者を出すことができました。

平成29年度に実施した校友会支援事業及び主体事業は、次のとおりです。
実施された事業の一部(◎印)を写真付きで簡単に紹介します。



参加学生さんからのコメント

就活の不安の1つに金銭面が挙げられると思いますが、千円で東京の合説に参加できるバスツアーは大変魅力的でした。山形では感じられない、全国の就活生の熱い雰囲気を感じて、就活のやる気スイッチが入りました。

就職活動支援事業

- 学生中心に行う優良企業訪問への支援
 - 首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備
 - 本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー
 - 障がい学生に特化したキャリア支援
- ◎首都圏及び大学主催合同企業説明会参加比較支援事業

首都圏での就職を目指す学生が参加する合同企業説明会(東京ビッグサイト)へのバス借り上げを行うとともに、身だしなみを整えるための休憩所を借りるなど、58名の参加学生さんに対する支援を行いました。

大学・社会活動支援事業

- 科学で東北を盛り上げ隊
- 山大生による山形大学のための情報発信プロジェクト
- オペラの教育機能を活用した《附属学校との協働》及び《高大連携事業》の推進

◎子どものまち・いしのまき復興支援事業

「子どものまち・いしのまき」開催に伴う子ども会議への出席、子ども達のアイデアへの支援や出店運営サポートを行うための旅費を25名の学生さんに支援しました。



参加学生さんからのコメント

アイスのお店を子どもたちと作りました。初日は雨でも来てくれた人たちに感謝し、晴天の2日目は完売後も「もっとやりたい」気持ち。エネルギーッシュな子どもたちとの強い絆が大きな喜びに繋がることを学びました。

会員相互の交流支援事業

- 農学部創立70周年記念式典における卒業生によるリレー講演
 - 山形大学卒業生講演会
 - 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業
 - 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈
 - 若手卒業生の組織化支援
 - 校友会「学生幹事」による校友会PRと自主的な活動支援
- ◎卒業生と大学・学生との連携推進事業



12月に第5回卒業生等首都圏ネットワーク総会が開催され、首都圏の卒業生と大学関係者等65名が参加しました。総会では副会長の交代、年度事業、OB&OGセミナーの開催他が審議され全会一致で承認されました。

また、山形大学の代表的な研究者の一人である坂井正人教授(人文社会科学部担当)による「山形大学ナスカ研究の過去・現在・未来」の特別講演が行われ、参加の方々は食い入るように聴講していました。

事業に参加した学生さんからのメッセージ

校友会大学院学生表彰制度（校友会長賞）

医学系研究科博士課程医学専攻4年 水野 恵さん

「自律神経」という言葉はよく使われますが、肝臓の中にも自律神経が存在しており、肝臓の血流や代謝に関わっています。私の研究テーマは、この肝臓の中にある自律神経線維で、慢性肝炎との関係を明らかにすることで、肝臓病の新たな治療戦略につながるのではないかと考えています。

医学専攻の学生は、医師として数年働いてから大学院に入るため、年齢が高めで子持ちは多いのが他学部との違いかもしれません。私も育児をしながらの研究のため、結果を出すまでに時間がかかります。しかし、講座の上野教授を始めとする先生方のご指導により、総説を学術誌へ投稿したり、国内外での学会発表をしたりと色々な経験をさせていただき、科研費若手Bにも2回採択されました。

臨床医としての仕事も育児もある中で研究を続けられたのは、講座の先生方のご助力があったからこそで、校友会長賞をいただけたのも、周囲の方々の温かいご指導とご支援の賜ものです。今回の受賞を励みに、今後とも研究活動に取り組んで参ります。



学生中心に行う優良企業訪問への支援

理学部物質生命化学科4年 大崎 雄哉さん

私は、就職活動を行う際に、まず「同じ職種で違う企業を探す」よりも「違う職種で多くの企業を探す」ことを大切にし、そこから職種毎に自分に合うか否かを比較して「自分に向いている」と思う職種に絞って就職活動を行いました。参加させていただいたバスツアーは、一日に2つの異なる職種の会社を見学することができ、更に先輩社員という自分と歳の近い方々とお話をできたことが特に良かったです。就職活動を振り返ると、ツアーで訪問した企業では、入社直後の仕事内容や人間関係など、一番気になる部分を詳しく聞くことができ、入社後のイメージが湧き、長い就職活動において、ある程度の道筋や自分の軸が作れて就職活動を上手く進めることができたと思っています。4年生になってから就職活動を始めて上手く行く人もいるかも知れませんが、3年生の夏から始めた方が絶対に有利になると思います。気軽にバスツアー等に参加してみてください。



山形大学雪合戦大会支援

工学部システム創成工学科2年 板垣 和磨さん

今回で第10回目となった雪合戦大会は、山形大学、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の三大学合同イベントとして開催されました。実行委員も三大学の学生が有志で集まり結成されました。開催日の約3ヶ月前から活動を開始し、多くの方々と協力して着実に準備を進め、当日は昨年を大きく上回る150名余の参加者を得て開催することができました。当初は、雪不足の心配もあったのですが、前日からの例年を上回る大雪で早朝からの作業にもかかわらず大幅にスケジュールを変更せざるを得ない状況となってしまいました。改めて米沢の冬を侮ってはならないと感じた瞬間でした。参加者及び来賓等の協力を得て試合環境を整えることができ、一層白熱した雪合戦を繰り広げていただきました。色々と課題は残りましたが、無事に終えられた時の安心感は今でも覚えています。自分が実行委員長を務めたこの雪合戦大会が、米沢での一大イベントとして今後も大きくなってくれたら嬉しく思います。

▶校友会事務局から

平成 29 年度収支報告

1. 収入

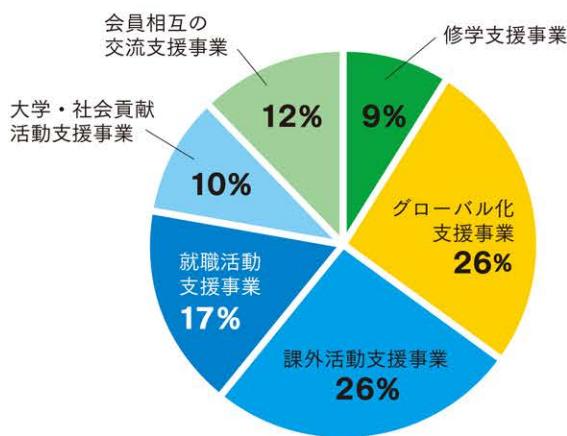
区分	決算額(円)
会費収入	19,320,000
雑収入	1,823
前年度から繰越	6,212,934
合 計	25,534,757

2. 支出

区分	決算額(円)
事業費	16,528,595
運営費	3,020,596
合 計	19,549,191

(30 年度へ繰越： 5,985,566 円)

事業費内訳



修学支援事業	1,523,009円
グローバル化支援事業	4,242,911円
課外活動支援事業	4,341,657円
就職活動支援事業	2,711,509円
大学・社会貢献活動支援事業	1,663,469円
会員相互の交流支援事業	2,046,040円
合 計	16,528,595円

▶平成 30 年度 校友会支援事業及び主体事業

平成 30 年度校友会支援事業及び主体事業として採択された事業は次の 27 件です。

I 校友会支援事業

（継続事業）

- 実践教育プログラム英語合宿
- 校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」
- 山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学雪合戦大会
- 新興国学生大使派遣プログラム
- 学生中心に行う優良企業訪問への支援
- 科学で東北を盛り上げ隊
- 本学 OB・OG から学ぶ業界・仕事研究セミナー
- 山形美術館を活用した学生の学習支援事業
- 子どものまち・いしのまき復興支援事業
- ビーチサッカー大会 in 庄内
- 山大生による山形大学のための情報発信プロジェクト
- 障がい学生に特化したキャリア支援
- オペラの教育機能を活用した『附属校との協働』及び『高大連携事業』の推進

（新規事業）

- 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業
- 各キャンパス大学祭への支援
- 公認サークルへの支援
- 博士課程学生への研究発表奨励事業
- 山形大学駅伝大会への支援
- 地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援
- 学生によるキャリア Café の運営
- 学生による地域の課題解決支援プログラム

II 校友会主体事業

- 山形大学校友会大学院学生表彰制度
- 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業
- 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈
- 若手卒業生の組織化支援
- 卒業生と大学・学生との連携推進事業
- 校友会「学生幹事」による校友会 PR と自主的な活動支援

▶平成 30 年度 校友会役員紹介

役 職	氏 名	推薦部局等	役 職	氏 名	推薦部局等
会 長	小山 清人	山形大学長	理 事	上村 勘二	一般社団法人米沢工業会(工学部)
副会長	野村 一芳	ふすま同窓会(人文社会科学部・理学部)	〃	齋藤 博行	鶴窓会(農学部)
〃	山川 光徳	医学部	〃	大場 好弘	山形大学理事・副学長
理 事	荒井 大介	人文社会科学部後援会	〃	是川 晴彦	人文社会科学部
〃	國井 正輝	地域教育文化学部後援会	〃	竹田 隆一	地域教育文化学部
〃	佐藤 圓治	理学部後援会	〃	鵜浦 啓	理学部
〃	斎藤 俊之	医学部医学科後援会	〃	佐藤 学	工学部
〃	高橋 利昌	医学部看護学科後援会	〃	小笠原宣好	農学部
〃	長谷部利信	工学部後援会	〃	伊藤 雅彦	事務職員
〃	石川 時彦	農学部後援会	〃	遠藤 憲子	学長推薦
〃	木村 康二	地域教育文化学部同窓会	監 事	佐川 韶	
〃	山下 英俊	蔵王会(医学部医学科)	〃	内田 勝男	
〃	松田 友美	樹氷会(医学部看護学科)			

INFORMATION

平成30年度 大学祭のご案内

小白川キャンパス「八峰祭」

10月20日(土) ~ 21日(日)



米沢キャンパス「吾妻祭」

10月6日(土) ~ 8日(月)



鶴岡キャンパス「鶴寿祭」

10月13日(土) ~ 14日(日)



卒業生の「人財バンク登録事業」に関するお願い

学生に講演や相談・就職アドバイスなどを行っていただくために、「卒業生の『人財バンク登録事業』を活用した学生支援事業」を行っています。登録期間は2年間ですが、更新も可能です。**多くの諸先輩方の登録をお待ちしています。**

なお、現在9名の卒業生に登録をしていただいております。

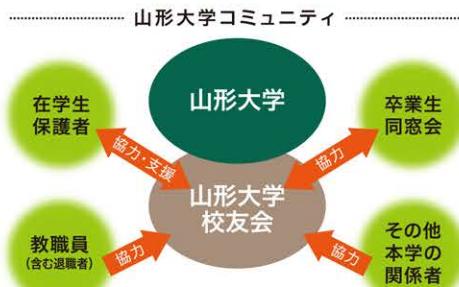
詳しくは、校友会ホームページ http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/jinzaibank2701_3010.html をご覧ください。

校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない 卒業生の皆さんへ(お願い)

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費(1万円)で実施しています。

ついては、多くの皆さんにご加入をお願い申し上げます。会員(除く入学時加入会員)の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。



入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入会日: 会費の納入により入会となります。

メールマガジンのお知らせ及び 山形大学や学生への 応援メッセージ寄稿のお願い

- 校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。
- 卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出など何でも結構です。

メールマガジン

■山形大学校友会メールマガジン登録

「山形大学校友会メールマガジン」への登録を行います。
入力いただいた個人情報は、メールマガジンの配信のみに使用し、他の目的には使用いたしません。
山形大学校友会における個人情報の取扱いについては、「個人情報の取り扱いについて」をご確認ください。
上記内容について同意いただき、下の登録ボタンからメールマガジンの登録を行ってください。

同意して登録

*ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。

編集後記

校友会は、在学生の修学・グローバル化・課外活動・就活及び社会活動等並びに卒業生の方々の交流など、学部の垣根を超えた全学的な支援をしています。在学生の皆さんには充実した学生生活を送るためのお手伝いを、卒業生の皆さんには母校愛を更に強く抱いていただけけるような、そして、卒業生間の異業種交流が活発化されるような活動をこれからも目指していきたいと考えています。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

山形大学エンロールメント・マネジメント部

山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185 E-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(校友会ホームページ) <http://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会 HP



Twitter
@YUkoyukai